

みゅーじあむ・船橋



平成27年3月



第4号

博物館ニュース

郷土の歴史 田喜野井

ふなばしめぐり おはんが池

[2] 訪ねてみよう！ ご近所の遺跡 道しるべ [4-6]

[3] 船橋の明治・大正・昭和 習志野原開拓 [7]

[3] インフォメーション [8]

博物館ニュース

郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館の企画展やいろいろな事業をご紹介します。

郷土資料館

「くらの道具 ― 道具が語るくらの歴史 (18) ―」

平成 26 年 12 月 20 日(土)～平成 27 年 4 月 12 日(日)まで

船橋市内の小学校 3・4 年生が『昔の道具とくらし』について学習する後期にあわせて、企画展示を行っています。

今回は暖房の道具（ストーブ・火鉢・あんか・ゆたんぼ等）、住まいの道具（アイロン・井戸・たらい・洗濯板等）、食事の道具（鍋・羽釜・七輪・ほうろく等）の他に、最近寄贈を受けた昔のお金（記念硬貨も含む）とモノの値段の移り変わりをパネルにしたものや写真などを展示しています。

学校の団体見学など、多くの小学生が展示を見にきてくれます。団体見学の時にはボランティアさんが道具の使い方や昔の様子を話してくれました。

来館者からは「懐かしい道具を見て昔を思い出しました」という感想をいただきます。これからも多くの道具を展示していきたいと思います。



郷土資料館からのお願い

昭和の時代（昭和 30 年～60 年頃）の家電製品など寄贈していただけるものはありませんか。なるべく状態の良い『昭和』の道具を数多く展示し、ひとりでも多くの子供たちに見てもらいたいと思っています。よろしくお願いします。

047-465-9680 郷土資料館



海神（わたつみ）は語る
美術部共同制作

第 4 回飛ノ台史跡公園博物館・船橋市立海神中学校合同展 「日本の美を今に活かした作品展」～平成 27 年 4 月 7 日(火)まで

当館と海神中学校美術科の連携事業で制作した生徒の作品を展示しています。数千年も前に縄文時代の人々が作った縄文土器には、様々な模様がつけられています。良く観察してみると、面白い形やデザインがとても個性的です。海神中の生徒たちは、美術科の授業で縄文土器の鑑賞とスケッチ、土器片の拓本を行い、さらに日本の美について学習を深めて作品を制作しました。こうして時間をかけて仕上がった 1 年生の焼き物の器、2 年生の型染めの布、3 年生の拓本を用いたボックスアート、そして今回は美術部の共同制作による縦 4 メートル×横 3.3 メートルの大型タペストリーも加わり、鑑賞された多くの皆様から感動の言葉が寄せられております。

飛ノ台史跡公園博物館・海神公民館共催事業

「考古学講座」開催いたしました！

今年も海神公民館との共催事業「考古学講座」を開催いたしました。1 月 31 日(土)、2 月 8 日(日)、2 月 14 日(土)の 3 回シリーズで行い、県内の戦国時代の城跡や縄文時代の植物、東中山台遺跡群の最新の発掘成果という内容の異なる講義に、毎回 100 名を超える受講者が参加されました。皆様から寄せられたアンケートを参考にして、来年度も楽しく考古学を学べる講座を企画していきたいと思ひます。



郷土の歴史

たき野井

田喜野井周辺がまだ海に近かったと思われる数千年前に、人々が海の貝類をとって食べ捨てたあとが西ヶ堀込遺跡（田喜野井 7 丁目）から発掘されています。ここでは縄文時代中期後半から後期前半の貝塚を伴う集落跡、縄文土器、石器などが出土しています。出土品のなかには、新潟県中越地方や東北地方北部の土器に似たものがあり、遠隔地との交流をうかがい知ることができます。また、外原遺跡（田喜野井 1 丁目）では古墳時代中期の竪穴式住居跡や滑石製模造品や鉄製品が出土しました。古墳時代中期の遺跡は少なかったため、全国的に注目を集めました。

田喜野井の地名を『船橋市史 前編』では、『村の名「田喜野井」あるいは「田木ノ井」は文字では「タキノイ」とよむが、土地の人は「タギノイ」と発音する。「タギ」とは元来「滝」とほぼ同じ意味で、水の勢いの激しいという語で

ある。田喜野井の「タギ」は、昔大きな泉があつて、たぎっていたので「タギノイ」といったのだろう。』と書かれています。豊富な水を利用し、多くの水田が開かれ豊かな農村であったことが伝えられています。

田喜野井の寺社

田喜野井には正法寺があります。護国山と号し真言宗豊山派で、弘治 2 年（1556）創立と伝えられています。正法寺より少しはなれたところに不動堂跡があり、延宝 2 年（1674）造立の石造不動明王像があります。

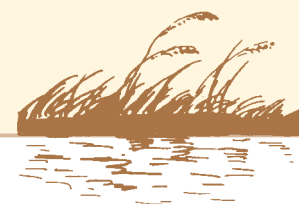
田喜野井の鎮守は子神社で主祭神は大己貴命（別名：大国主命）。境内には多くの石碑があり村の歴史を知る手がかりを与えてくれます。御嶽神社は元は田喜野井小学校の所にありましたが、学校の造成に伴い子神社境内に移されました。

ふなばしめぐり

おはなが池 田喜野井 6 丁目

元禄 14 年（1701）の「弁財天」石祠のあるところの周辺に「おはなが池」という底深く、大量に水が湧く池がありました。水面には水草や雑草がおおい被さるように生い茂っていました。その中央付近は特に深く、絶えず冷水が湧き出していたといひます。草も生えず真冬でもこの部分は氷がはらない池でした。

* 池は埋め立てられ住宅地となっています。
現在ある池は新しく整備されたものです。



— 伝説 —

昔この土地に「おはん」という女が住んでおり、この池の岸边に生えた「おはぐろの木」（五倍子の木）にのぼり、実をとろうとしたところ枝が裂けこの池に落ちた。村人がおはんをさがしたが、池の底深く落ち込んだためか見つけることができなかった。それ以来この池を「おはなが池」とよぶようになった。

また、昔、火災にあった家の柱や梁などをこの池に投棄したところ、腐材がどこにはいったかわからなくなりました。

路傍にひっそりとたたずむ道しるべ

私たちは、写真1のように道路上の目立つ位置に目的地までの方向や距離などを示す道路標識をよく見かけます。

一方、自動車交通が発達する以前では、江戸時代初めより旅人の道中案内のため路傍に石造りの道しるべが建てられました。

また、庚申塔や廻国塔などにも道中案内を刻んだ石造物を見ることができます。道しるべの多くには裏面や側面に、寄進者の名前・村名や造立年月が刻まれています。『船橋市史 民俗文化財編』（平成13年）によると船橋市内では道しるべなどの道中案内を刻んだ石造物は約60基確認されています。

では、市内に残る道しるべを千葉街道の葛飾から成田街道の薬園台にかけて訪ねたいと思います。この街道は、江戸時代には葛飾区新宿から佐倉城まで

幕府により「佐倉道」と命名されていました。しかし、成田詣が盛んになるにつれて、いつしか「佐倉道」は「成田（山）道」と呼ばれるようになりました。

道しるべの訪問は、JR西船橋駅で下車して千葉街道を西へ250m歩いた写真2の葛飾神社から始めます。



写真2 葛飾神社

神社境内に2基（地図中①②）の道しるべがあります。1基は宝暦11年（1761）造立の角柱で、正面に「是より かつしか 大明神 一町半」と刻まれています。もう1基は文政11年（1828）造

立の円柱で、正面に「一郡総社 葛飾大明神神送 従是一町余」と刻まれています。2基とも江戸時代の造立で、原位置から葛飾神社までの距離を示して参詣者の便宜を図るために立てられたものです。このような道しるべを「町石」といいます。

ここから、東へ100m歩き、みずほ銀行手前を左折したY字路に写真3の寛政12年（1800）造立の右奥の庚申塔（地図中③）と左手前に大正6年（1917）造立の「無線電信所道」（地図中④）が見えます。

庚申塔は台石右面に「是より かまがやみち」と刻まれています。ここから北東方向に進む鎌ヶ谷道を案内しています。「無線電信所道」は、側面に「従是北八百余間至無線電信所 無線電信所道」と刻まれ、行田の海軍無線電信所までの道と距離を案内しています。この道しるべは、大正6年に皇太子殿下をお迎えするにあたり道路の改修をした記念に立てられたものです。原位置は、南側の千葉街道から印内・寺内へ行く分岐点の角に建てられていました。

街道を東へ歩き JR 総武線の跨線橋を渡り右へ



写真3 葛飾自治会館隣の道しるべ



写真4 海神念仏堂境内の道しるべ

100m歩くと、海神念仏堂境内で写真4の市内最古の元禄7年（1694）造立の道しるべ（地図中⑤）を見つけました。以前は行徳街道との分岐点にありました。正面に「右 いち川みち 左 行とくみち」と刻まれています。「いち川みち」は八幡から市川

へ至る道で佐倉道の一部で、「行とくみち」は原木から行徳に至る道で、いずれも江戸に通じている道です。さらに街道を東へ進むと本町通りに至ります。本町通りは江戸時代、九日市村、五日市村、海神村の三か村からなる船橋宿でした。江戸時代の文化15年（1818）には旅籠が25軒もあり成田詣客やその他の旅行客で大変賑わった宿場でした。

本町通を過ぎて船橋大神宮の鳥居前を右方向に進み最初の信号を左折すると東光寺です。写真5の石段右側に宝永6年（1709）造立の廻国塔（地図中⑥）には「右ハかつさ道 左ハ さくら道」と刻まれています。「かつさ道」は上総道（房総往還）で、船橋大神宮下で佐倉道と分かれ、江戸湾（東京湾）に沿って上総・安房方面に至る道です。「さくら道」は佐倉に至る道です。従って、原位置は上総道と佐倉道の分岐点船橋大神宮西側鳥居付近と考えられます。現所在地に建てられるまでは何回か移動したと思われる。

街道に戻り30分ほど歩くと成田街道入口T字路の向こうに、写真6の明治12年（1879）造立の輪宝を乗せて三面に「成田山道」と刻まれた道しるべ（地図中⑦）が見えます。

明治12年に信成集という講中仲間49名が建立したものです。江戸を中心として成田山信仰の広がりがわかります。右面に「従是房総街道」、左面に「成田山道」と刻まれています。

道しるべでは「房総街道」と刻まれているますが、この道は「御成街道」とよばれ、家康



写真5 東光寺境内の道しるべ



写真6 佐倉道（成田道）・御成街道分岐点の道しるべ

道しるべ所在地と行程



が東金で鷹狩りをするために、慶長 19 年（1614）、佐倉城主土井利勝に造成させたものです。成田山道（佐倉道）はここで左におれ、佐倉から成田にむかいます。



写真7 前原西1丁目の「庚申塔群」

左へ曲がって 100m ほど歩くと、写真7の「庚申塔群」が見えます。一番右の安永6年（1777）造立の道しるべ（地図中⑧）では、成田山の象徴である不動明王像の台石に「右なりた道」「左とうかね道」と刻まれています。左面に「願主 日本橋左内町 和泉屋甚兵衛」と江戸の商人が願主であることから、江戸においても成田山信仰が盛んになっていることがわかります。

街道をさらに八千代方面に歩くと新京成線薬園台駅入口手前、「宗家源吉兆庵」向かいの道路脇に半分埋もれた写真8の道しるべ（地図中⑨）を見つけました。

正面に「成田山」、右面「大和田」、左面「舟橋」と刻まれています。成田山は成田山新勝寺のことで、右側から見た方向が大和田方面を示しています。

この辺り一帯は、八代将軍吉宗の指示で丹羽正伯と桐山太右衛門が薬草園を開発したところです。また、この先から現八千代市新木戸までは、江戸幕府に



写真8 宗家源吉兆庵前の道しるべ

より軍馬を確保するための下野牧が広がっていました。成田参詣の旅人達にとって、野馬の群れ遊ぶ原野を歩くのは楽しかったのではないのでしょうか。

さて、江戸幕府により命名された「佐倉道」には「佐倉道」「成田（山）道」の2つの道しるべ銘がありました。いつごろから「佐倉道」から「成田（山）道」と呼ばれるようになったのか、探してみたいと思います。

明治時代以降は、すべての道しるべが「成田（山）道」と刻まれていますので、江戸時代の造立で日本橋から佐倉城跡（国立歴史民俗博物館）までの街道に残る道しるべを抽出し、道しるべのキーワードを「佐倉」「成田」として造立年代の古い順に下表にして探ります。

NO	道しるべ 銘 文	造 立 年	所在地・○内地図中
1	左 さくら海道	元禄 6（1693）	葛飾区高砂 6
2	左ハ さくら道	宝永 6（1709）	船橋市宮本 5 ⑥
3	右 なりたちば寺道 成田山 さくらミチ	安永 6（1777）	葛飾区新宿 2
3	なりた道	安永 6（1777）	船橋市前原西 1 ⑧
5	成田	天明元（1781）	足立区千住 4
6	右へ 成（田）	享和 3（1803）	八千代市大和田新田
7	右 成田ミチ	文化 3（1806）	佐倉市臼井台
7	東 成田道	文化 3（1806）	佐倉市臼井台
9	なりたみち	文政 3（1820）	八千代市大和田新田
10	成田山道	天保 2（1831）	佐倉市井野

表を見ると、葛飾区新宿の安永6年（1777）造立の道しるべに「なりたちば寺道 成田山 さくらミチ」の両方が刻まれています。安永6年以前の道しるべはすべて「佐倉」です。一方、安永6年以後は、すべて「成田」です。おそらく安永6年ころを画期として、江戸幕府により命名された「佐倉道」は、幕府公式の道から成田詣の隆盛に伴い庶民の道として「成田（山）道」と呼ばれるようになったと思われます。

《主な参考文献》

- ・『道標』昭和 58 年 船橋市教育委員会
- ・『船橋市の石造文化財』昭和 59 年 船橋市
- ・『船橋市 民俗・文化財編』平成 13 年 船橋市

～ 船橋の明治・大正・昭和 ～

なら し の はら かい たく 習 志 野 原 開 拓

昭和 20（1945）年 11 月、終戦後、食糧不足と復員軍人・引揚げ者などの職と住まいの確保のため、大規模な開拓・干拓・土地改良を実施し、食糧の自給、帰農を促進する方針が閣議決定され、全国各地で開拓が行われます。

閣議決定に先立つ、9 月 11 日、現在の船橋市・習志野市・八千代市にまたがる地域にあった陸軍の習志野原演習場では、演習場を農地に変えるべく、鍬入れ式が行われ、習志野原の開拓が始まりました。

開拓は当初、集団農場方式を試みましたが、昭和 21（1946）年、開拓者の要望により、約 1048 町歩（約 10.4km²）の土地を、約 400 人（戸）、一人一人に均等に割り振り、それぞれの土地を開拓することになります。その後、開拓地の一部（現在の陸上自衛隊習志野演習場の部分）がアメリカ軍に接収されるなどし、開拓地の面積が減少するという悲劇に見舞われます。

建物がほとんどなかった開拓地では当初、演習場の南端にあった^{しょうしや}廠舎*から通い、後に手作りの小屋や国が建設した七坪・十坪の家と呼ばれた簡易な住居に住み、荒野と林を切り拓き、農業経験者が少ない中、試行錯誤を重ねながら、小麦、サツマイモ・ジャガイモなど根菜類などの農作物を栽培していきました。

※ 演習中兵士が寝泊まりしていた宿舎

昭和 26（1951）年、開拓した土地の所有権が売り渡され、開拓者は土地の権利を得ましたが、困窮の為、開拓地を離れる人もいました。

生活が安定し始めた昭和 30 年代後半、日本は高度経済成長の時代を迎え、東京に近い開拓地にも、宅地化・工業地化の波が押し寄せてきます。

開拓地の北側（現在の船橋市習志野台・西習志野・習志野の一部）は、昭和 42（1967）年に入居が開始された習志野台団地造成を機に、農地の大部分は住宅地となり、南側（現在の船橋市習志野の一部・習志野市東習志野）は昭和 30 年代後半から大規模な工場が多く進出し、風景は大きく変わりました。

開拓開始から 70 年の時が経ち、開拓者が戦後の物資不足の中、荒野や林を大変な苦勞をし、農地へと変えていった光景を想像することは難しくなっています。



昭和 27 年頃 北習志野駅前付近の風景



七坪の家 雨風に弱く、雪の日には家の中まで雪が積もったこともあったという。



西習志野での開拓風景



習志野原開拓地の範囲

郷土資料館

★小企画展「船橋の昭和 ― 写真でみる戦後70年の歩み ―」 平成27年4月25日(土)～7月5日(日)

★小企画展(仮)「収蔵資料展」 平成27年7月中旬から9月末予定

☆「船橋の歴史散歩 船橋御厨と夏見城の跡を訪ねる」 5月16日(土)開催予定です。

詳しくは4月15日号の市広報でお知らせいたします。

☆地域史講座 6月開催予定です。日程・内容が決まり次第、市広報でお知らせいたします。

飛ノ台史跡公園博物館

★第4回飛ノ台史跡公園博物館・船橋市立海神中学校合同展

「日本の美を今に活かした作品展」

開催中 平成27年4月7日(火)まで

★第15回縄文コンテポラリー展 in ふなばし ～環～

環太平洋にまたがる地域の文化と縄文文化の比較やつながりをアートで表現します。

平成27年7月19日(日)～8月30日(日)を予定しています。

☆バスで訪ねる博物館見学 平成27年5月23日(土)

一茶双樹記念館・流山市立博物館を中心に、流山の街探検を予定しています。

詳細は、5月1日号の市広報でお知らせいたします。



協力 船橋市華道連盟

表紙の写真から

～縄文土器と現代人 神保君雄氏撮影～

数千年も前の縄文時代の人たちがつくった土器を、現代人はどのように感じるのでしょうか？
職業体験のために博物館にやってきた中学生たちに、縄文土器を持ってもらうことがあります。意外な重さやひんやりとした感触、模様の凹凸、乾いた土のにおいに、皆、感激します。五感で感じることは、観るだけではわからないことにも、多くの気づきがあるのではないのでしょうか。

郷土資料館

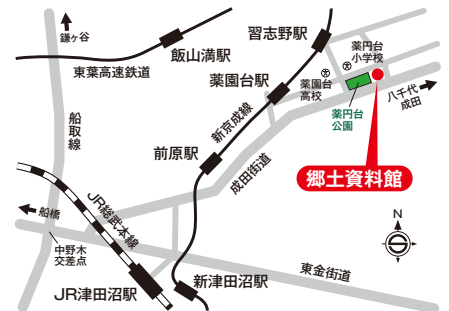
開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入館料 無料
住所 船橋市薬円台4-25-19
電話 047-465-9680
FAX 047-467-1399
Eメール kyodo@city.funabashi.lg.jp

交通案内

新京成電鉄 習志野駅下車 徒歩10分

JR津田沼駅北口から
習志野新京成バス「高津団地中央」「北習志野駅」「八千代緑が丘駅」行き、または、ちばレインボーバス「船尾車庫」「JR木下駅」行き
「郷土資料館」下車徒歩1分



飛ノ台史跡公園博物館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入館料 一般100円(団体20名以上70円)
児童生徒50円(団体20名以上30円)
市内在住小中学生 無料

住所 船橋市海神4-27-2
電話 047-495-1325
FAX 047-435-7450
Eメール tobinodai@city.funabashi.lg.jp

交通案内

東武アーバンパークライン(野田線) 新船橋駅下車 徒歩8分
京成線 海神駅下車 徒歩15分
東葉高速鉄道 東海神駅下車 徒歩12分

新京成バス JR船橋駅北口から建鉄循環
「海神中学校」下車 徒歩1分



ご利用案内・交通案内

休館日カレンダー

4月							5月							6月							7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4						1	2																											
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							31																					30	31												
は休館日																																									

□ は休館日